

環 境 委 員 会 資 料

平 成 3 0 年 2 月 8 日

【所管事務の調査（報告）】

川崎駅前東交差点における市バスの事故について

交 通 局

川崎駅前東交差点における市バスの事故について

1 発生日時等

発生日時 平成30年1月22日（月） 午後8時09分
発生場所 川崎市川崎区駅前本町8（川崎駅前東交差点）
気象状況 川崎区内において12時頃から降雪

2 事故状況

当該バスはタイヤチェーンを装着せずに塩浜営業所を午後5時14分に出庫し、午後8時06分に約20分遅れで川崎駅東口に到着した。

その後、回送で塩浜営業所に向かう際、当該交差点において、スリップし、分離帯に乗り上げ、街路灯に衝突、街路灯が道路を塞ぐように倒れたもの。この影響で、市役所通りの砂子交差点から川崎駅前東交差点の間は、約2時間30分通行止めになった。

なお、当該バスがタイヤチェーンを装着しなかったのは、運行中の運転手からの情報や、運行する路線が、通行量が多い国道132号線や海底トンネルであることなどから、運行管理者が積雪の影響は小さいと判断したためである。

<事故による負傷者の有無>

- 回送中のため、バス車内に乗客はおらず、運転手にも怪我はない。
- 街路灯が倒れたことにより、被害を受けた方はいない。

3 事故原因

交差点を右折する際、降雪の影響があるため、通常よりスピードを落とした慎重な運転操作を行う必要があったが、晴天時と同じ運転操作で右折したことから、バスがスリップし運転操作がきかなくなったため、事故が発生したもの。

4 再発防止策

- 事故翌日、各営業所に事故速報を送信し、全運転手に対し周知徹底した。
- 降雪時の点呼時には、降雪時の運転操作に十分注意することを運転手に指示するよう、再度、運行管理者に対し注意喚起した。
- 降雪時にはスリップしやすくなっているため、通常よりスピードを落として走行し、特に右左折時は、より慎重な運転操作を行うよう、再度、全運転手に対し注意喚起した。
- 降雪時は、運転手から道路状況の情報を常に収集し、道路の積雪状況に応じてタイヤチェーンの装着などを適切に行うよう、全営業所に対し、引き続き、周知徹底した。
- 交通局では、2月21日に、雪害時の対応確認訓練を本局及び営業所合同で実施する。
- 今後、毎年度開催している非常用具取扱い講習の中でチェーンの装着方法とあわせて雪道での操作方法を取入れる。

